令和 7 年 9 月 25 日

埼玉県感染症発生動向調査事業　　彩の国　埼玉県

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報　2025 年 第 38 週（9 月 15 日～9 月 21 日）

一類及び二類（結核を除く）感染症		報告なし		
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	6 人	類型	患者　5 人、無症状病原体保有者　1 人
			血清型	O157　5 人、O26　1 人
四類感染症	A型肝炎	1 人	推定感染地域	国内
	デング熱	1 人	推定感染地域	国外
	レジオネラ症	2 人	病型	肺炎型　2 人
五類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1 人	菌種	*Citrobacter*　sp.
	急性脳炎	3 人	病原体	新型コロナウイルス　1 人、 ﾗｲﾉ/ｴﾝﾃﾛウイルス　1 人、不明　1 人
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1 人	血清群	G群
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 人	推定感染地域	国内
	侵襲性肺炎球菌感染症	1 人		
	梅毒	10 人	病型	早期顕症Ⅰ期　4 人、早期顕症Ⅱ期　4 人、 無症状病原体保有者　2 人
	百日咳	68 人		
	年齢階級	0 歳　1 人、3 歳　1 人、4 歳　2 人、 5 歳　4 人、7 歳　6 人、8 歳　3 人、9 歳　8 人、 10 歳代　16 人、20 歳代　5 人、30 歳代　9 人、40 歳代　1 人、 50 歳代　4 人、60 歳代　4 人、70 歳代　2 人、80 歳代　2 人		

〈百日咳の患者情報〉

第 38 週に届出があった**百日咳**の患者数（第 37 週以前に診断された患者を含む）は 68 人であった（前週 133 人）。第 38 週に診断された患者数は 66 人で、この内訳を年齢階級別にみると、5～9 歳が 22 人（全体の約 33%）と最も多く、次いで 10～14 歳が 12 人（約 18%）であった（**図 1**）。

（参考）埼玉県感染症対策課 最新の感染症情報（URL：https://www.pref.saitama.lg.jp/a0710/news/widespread-infectious_disease.html ）

〈定点把握疾患の患者情報〉

新型コロナウイルス感染症（9.91*→8.99：図 2）の定点当たり報告数は、前週と比較して同水準であった。年齢階級別でみると、前週に引き続き 10～14 歳（257*人→244 人）の報告が多い。基幹定点における**入院患者**の報告は 27 人（前週 34 人）であった。**ＲＳウイルス感染症**（1.86*→2.06：図 3）の定点当たり報告数は、8 月中旬以降増加傾向にあり、多い状況にある。年齢階級別では、1 歳以下が全体の約 64%であった。保健所別では、鴻巣（2.71→4.43）、加須（0.00→2.00）保健所管内で大きく増加した。**急性呼吸器感染症**（81.93*→75.75：図 4）の定点当たり報告数は、報告開始となった 4 月以降、おおむね 60.00～80.00 の範囲で推移している。眼科定点報告疾患では、**急性出血性結膜炎** 2 人、**流行性角結膜炎** 48 人の報告があった。基幹定点報告疾患では、**無菌性髄膜炎** 5 人、**マイコプラズマ肺炎** 15 人（前週 16 人）、**インフルエンザ（入院）** 3 人の報告があった。

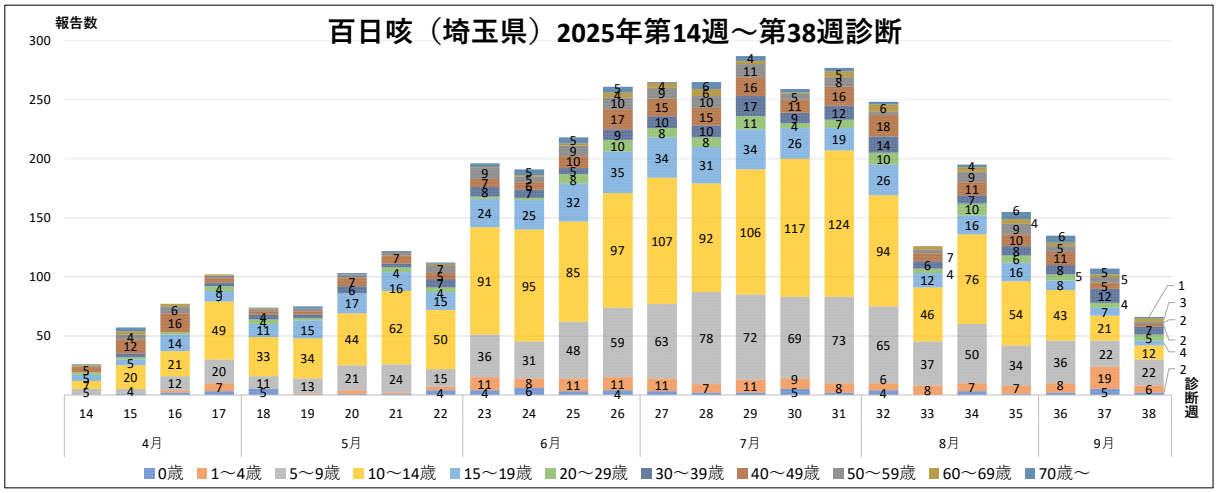
＊　遅れ報告・修正報告を反映した値を掲載。

全国の感染症発生動向に関する情報は、国立健康危機管理研究機構　感染症情報提供サイト（URL：https://id-info.jihs.go.jp/ ）で御覧になれます。

埼玉県衛生研究所　感染症疫学情報担当
TEL:0493-59-9325　e-mail:p5349952@pref.saitama.lg.jp
URL: https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/

＜注目すべき疾患（百日咳）＞

図１　百日咳の診断週別報告数の推移



＜今週の注目される定点把握対象疾患の推移＞

図２　新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移

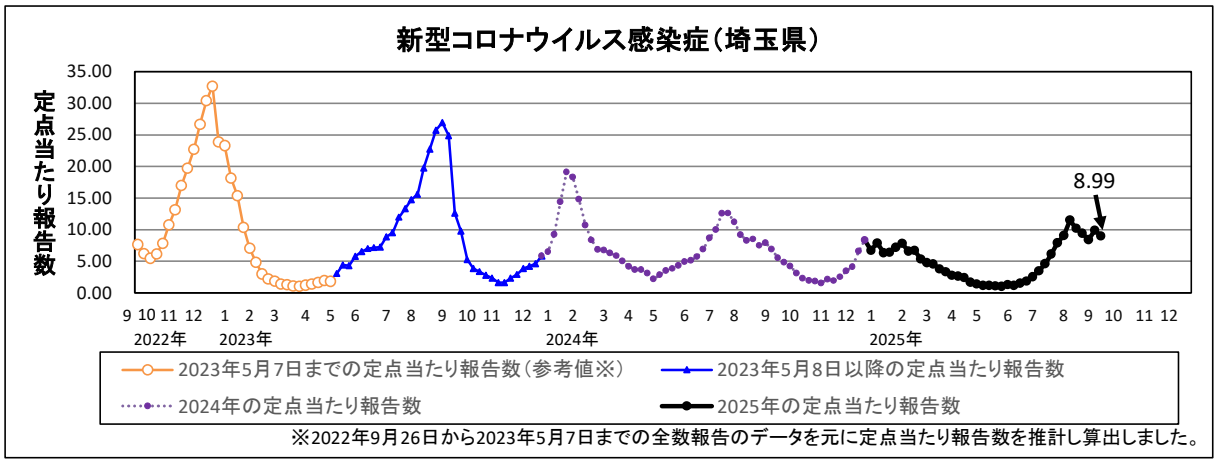


図３　ＲＳウイルス感染症の定点当たり報告数の推移

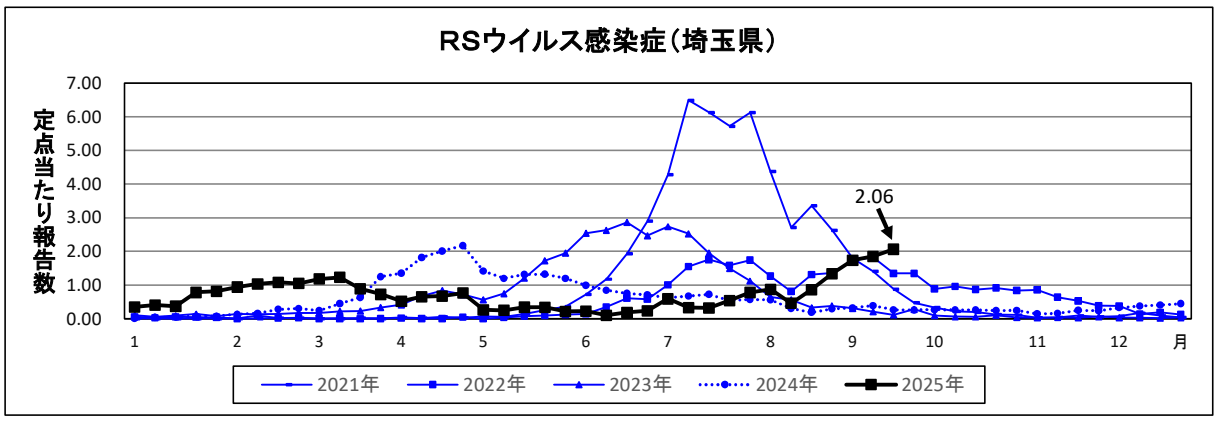
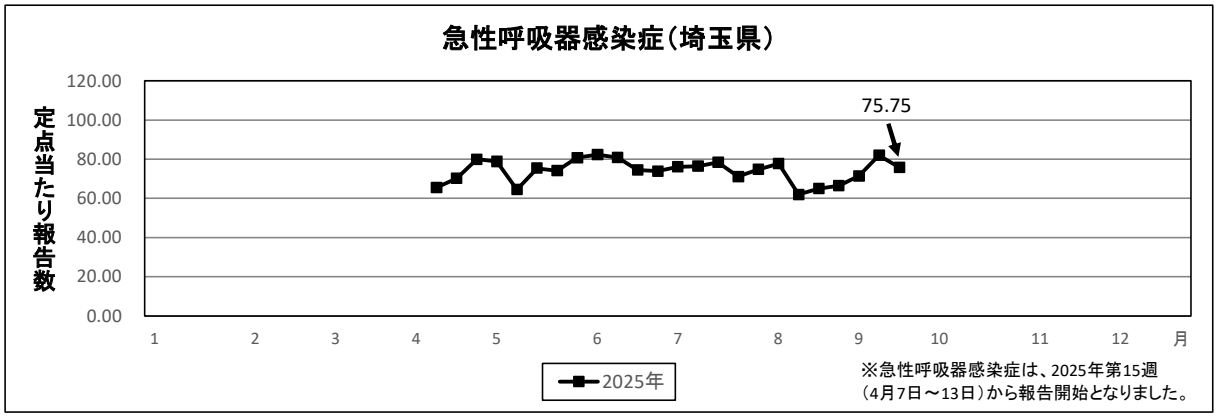


図４　急性呼吸器感染症の定点当たり報告数の推移



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第38週)

(2025年9月24日　13:30集計)

	今週届出	累計		今週届出	累計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核＊1	−	−	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		3
細菌性赤痢		4	パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	6	120			
四類感染症					
E型肝炎		29	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎	1	5	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		1
エムポックス			日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病		1	Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		1
キャサヌル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		3
重症熱性血小板減少症候群			野兎病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱		1	レジオネラ症	2	68
つつが虫病		1	レプトスピラ症		1
デング熱	1	4	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢		7	侵襲性肺炎球菌感染症	1	122
ｳｲﾙｽ性肝炎(E型・A型を除く)		7	水痘(入院例に限る)		22
ｶﾙﾊﾞﾍﾟﾈﾑ耐性腸内細菌目細菌感染症	1	58	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)		3	梅毒	10	405
急性脳炎	3	34	播種性クリプトコックス症		3
クリプトスポリジウム症		1	破傷風		6
クロイツフェルト・ヤコブ病		10	ﾊﾞﾝｺﾏｲｼﾝ耐性黄色ﾌﾞﾄﾞｳ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	50	ﾊﾞﾝｺﾏｲｼﾝ耐性腸球菌感染症		3
後天性免疫不全症候群		25	百日咳	68	4181
ジアルジア症			風しん		
侵襲性ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ菌感染症		16	麻しん		9
侵襲性髄膜炎菌感染症	1	4	薬剤耐性アシネトバクター感染症		

累計は診断日で集計

＊1　結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生状況（定点把握対象疾患）　　報告患者数　　保健所別　（2025年第38週　　9月15日～9月21日）

保健所		インフルエンザ ＃1	新型コロナウイルス感染症	急性呼吸器感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 ＃2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 ＃3	感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）	インフルエンザ（入院）	新型コロナウイルス感染症（入院）
全県	報告数	168	1,573	13,256	227	34	226	439	31	60	48	38	116	13	2	48	－	5	15	－	－	3	27
	定点当たり	0.96	8.99	75.75	2.06	0.31	2.05	3.99	0.28	0.55	0.44	0.35	1.05	0.12	0.05	1.12	－	0.42	1.25	－	－	0.25	2.25
朝霞	報告数	38	253	1,051	9	3	17	33	1	1	1	4	10	1	－	3	－	1	5	－	－	－	4
	定点当たり	2.38	15.81	65.69	0.90	0.30	1.70	3.30	0.10	0.10	0.10	0.40	1.00	0.10	－	0.60	－	1.00	5.00	－	－	－	4.00
鴻巣	報告数	4	205	1,726	31	4	31	30	1	2	8	1	3	1	－	14	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊
	定点当たり	0.33	17.08	143.83	4.43	0.57	4.43	4.29	0.14	0.29	1.14	0.14	0.43	0.14	－	4.67	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊
東松山	報告数	4	18	545	－	－	3	59	1	－	4	2	1	3	－	－	－	－	－	－	－	－	2
	定点当たり	1.00	4.50	136.25	－	－	1.00	19.67	0.33	－	1.33	0.67	0.33	1.00	－	－	－	－	－	－	－	－	2.00
秩父	報告数	1	11	77	－	－	6	－	1	1	1	－	5	－	＊	＊	－	－	－	－	－	－	－
	定点当たり	0.25	2.75	19.25	－	－	2.00	－	0.33	0.33	0.33	－	1.67	－	＊	＊	－	－	－	－	－	－	－
本庄	報告数	1	38	196	－	1	2	－	1	3	5	－	5	－	－	2	－	－	－	－	－	－	1
	定点当たり	0.25	9.50	49.00	－	0.33	0.67	－	0.33	1.00	1.67	－	1.67	－	－	2.00	－	－	－	－	－	－	1.00
熊谷	報告数	2	52	393	9	－	5	14	4	4	1	2	4	－	－	1	－	－	－	－	－	－	3
	定点当たり	0.25	6.50	49.13	2.25	－	1.25	3.50	1.00	1.00	0.25	0.50	1.00	－	－	0.50	－	－	－	－	－	－	3.00
加須	報告数	3	46	136	6	－	2	－	－	－	1	－	－	1	－	2	－	－	3	－	－	－	2
	定点当たり	0.60	9.20	27.20	2.00	－	0.67	－	－	－	0.33	－	－	0.33	－	2.00	－	－	3.00	－	－	－	2.00
春日部	報告数	12	44	792	8	3	9	14	3	3	－	3	6	－	－	－	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊
	定点当たり	2.00	7.33	132.00	2.67	1.00	3.00	4.67	1.00	1.00	－	1.00	2.00	－	－	－	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊
幸手	報告数	9	169	1,205	28	5	21	12	1	－	1	1	13	－	－	－	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊
	定点当たり	1.00	18.78	133.89	5.60	1.00	4.20	2.40	0.20	－	0.20	0.20	2.60	－	－	－	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊
坂戸	報告数	－	28	300	－	－	1	20	－	1	2	－	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	4
	定点当たり	－	7.00	75.00	－	－	0.33	6.67	－	0.33	0.67	－	0.33	0.33	－	－	－	－	－	－	－	－	4.00
草加	報告数	22	104	677	21	1	9	31	2	3	3	2	5	－	－	1	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊
	定点当たり	2.00	9.45	61.55	3.00	0.14	1.29	4.43	0.29	0.43	0.43	0.29	0.71	－	－	0.33	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊
狭山	報告数	23	204	979	35	2	25	37	5	10	9	2	7	1	2	2	－	1	3	－	－	1	1
	定点当たり	1.77	15.69	75.31	3.50	0.20	2.50	3.70	0.50	1.00	0.90	0.20	0.70	0.10	0.40	0.40	－	1.00	3.00	－	－	1.00	1.00
南部	報告数	9	51	312	21	－	15	32	2	4	－	1	6	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	定点当たり	1.80	10.20	62.40	7.00	－	5.00	10.67	0.67	1.33	－	0.33	2.00	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
川越市	報告数	5	44	829	4	4	14	11	4	2	1	2	11	－	－	2	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊
	定点当たり	0.56	4.89	92.11	0.80	0.80	2.80	2.20	0.80	0.40	0.20	0.40	2.20	－	－	1.00	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊
越谷市	報告数	7	43	582	－	4	4	20	2	2	2	1	5	－	－	－	－	1	－	－	－	1	2
	定点当たり	0.88	5.38	72.75	－	0.80	0.80	4.00	0.40	0.40	0.40	0.20	1.00	－	－	－	－	1.00	－	－	－	1.00	2.00
川口市	報告数	15	94	868	6	1	9	32	1	14	4	3	16	2	－	3	－	－	－	－	－	－	3
	定点当たり	1.07	6.71	62.00	0.75	0.13	1.13	4.00	0.13	1.75	0.50	0.38	2.00	0.25	－	0.75	－	－	－	－	－	－	3.00
さいたま市	報告数	13	169	2,588	49	6	53	94	2	10	5	14	18	3	－	18	－	2	4	－	－	1	5
	定点当たり	0.30	3.93	60.19	1.75	0.21	1.89	3.36	0.07	0.36	0.18	0.50	0.64	0.11	－	2.00	－	2.00	4.00	－	－	1.00	5.00

（ － ： 0.00 ）　　＃1 鳥インフルエンザを除く　　＃2 真菌性を含む　　＃3 オウム病を除く

9月　　24 日　　10:30 集計

感染症発生状況（定点把握対象疾患）　報告患者数　年齢別　（2025年第38週　9月15日～9月21日）

	合計	−6ヵ月	−12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10−14	15−19	20−29	30−39	40−49	50−59	60−69	70−79	80〜
インフルエンザ　#1	168	1	1	4	4	4	11	5	10	6	7	3	39	23	9	19	8	5	5	1	3
新型コロナウイルス感染症	1,573	16	19	22	19	11	11	13	30	25	28	35	244	164	127	145	173	184	110	109	88

	合計	0歳	1−4	5−9	10−14	15−19	20−29	30−39	40−49	50−59	60−69	70−79	80〜
急性呼吸器感染症	13,256	788	4,854	3,039	1,326	545	449	561	466	450	290	269	219

	合計	−6ヵ月	−12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10−14	15−19	20〜
RSウイルス感染症	227	30	28	88	42	19	13	2	1	1	1	−	−	−	2
咽頭結膜熱	34	1	3	10	2	6	6	1	1	1	1	1	−	1	−
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	226	−	−	4	9	18	27	30	29	21	32	15	24	2	15
感染性胃腸炎	439	7	37	63	46	47	37	30	31	17	21	24	60	8	11
水痘	31	−	−	4	3	1	5	1	3	−	1	4	8	1	−
手足口病	60	2	4	26	9	7	3	1	4	1	1	1	1	−	−
伝染性紅斑	48	−	−	3	5	9	7	12	6	3	1	1	1	−	−
突発性発しん	38	1	7	15	9	3	3	−	−	−	−	−	−	−	−
ヘルパンギーナ	116	−	14	27	24	13	10	11	4	6	1	1	4	−	1
流行性耳下腺炎	13	−	1	1	1	−	1	3	3	−	1	1	1	−	−

	合計	−6ヵ月	−12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10−14	15−19	20−29	30−39	40−49	50−59	60−69	70〜
急性出血性結膜炎	2	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1
流行性角結膜炎	48	−	−	1	3	2	1	2	1	2	4	−	6	5	1	11	6	−	2	1

	合計	0歳	1−4	5−9	10−14	15−19	20−24	25−29	30−34	35−39	40−44	45−49	50−54	55−59	60−64	65−69	70〜
細菌性髄膜炎　#2	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
無菌性髄膜炎	5	2	−	1	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1
マイコプラズマ肺炎	15	−	4	6	4	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
クラミジア肺炎　#3	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
インフルエンザ(入院)	3	−	−	−	1	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	1
新型コロナウイルス感染症(入院)	27	3	1	−	−	−	−	1	−	−	1	−	1	−	1	6	13

※ 表中の数値は各定点からの報告数（ − : 0 ）

#1　鳥インフルエンザを除く　　#2　真菌性を含む　　#3　オウム病を除く

全国・関東情報

第36週 (9月1日～9月7日)

令和7年9月25日

＜全国情報＞

急性呼吸器感染症定点報告疾患(報告定点数:3,860):インフルエンザの定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(3.16)、鹿児島県(2.16)、長野県(1.47)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は34例と前週と比較して減少した。都道府県別では19都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(1例)、1～9歳(14例)、10代(3例)、20代(1例)、60代(4例)、70代(5例)、80歳以上(6例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は宮崎県(17.29)、長崎県(13.90)、大分県(13.88)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は1,844例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(82例)、1～9歳(75例)、10代(22例)、20代(24例)、30代(37例)、40代(30例)、50代(84例)、60代(163例)、70代(437例)、80歳以上(890例)であった。急性呼吸器感染症(報告定点数:3,847)定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は群馬県(84.49)、岩手県(82.27)、栃木県(79.35)である。

小児科定点報告疾患(主なもの)(報告定点数:2,352):RSウイルス感染症の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は福岡県4.76)、愛媛県(3.65)、山形県(3.54)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は島根県(1.00)、宮崎県(1.00)、沖縄県(0.92)、福岡県(0.70)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は愛媛県(5.40)、鳥取県(3.79)、茨城県(3.16)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は島根県(9.00)、大分県(8.39)、群馬県(7.60)である。水痘の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は長崎県(0.45)、滋賀県(0.43)、青森県(0.41)である。手足口病の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は北海道(4.05)、沖縄県(1.60)、福島県(0.71)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続で減少したが、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は佐賀県(7.00)、山形県(5.38)、大分県(5.17)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は山形県(3.12)、富山県(2.71)、宮城県(2.52)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位2位は大分県(0.19)、福島県(0.11)である。

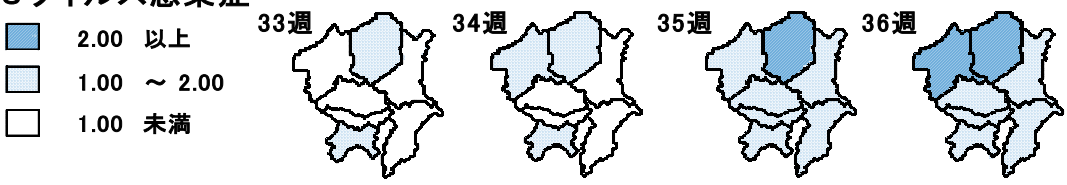
基幹定点報告疾患:マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は秋田県(3.38)、群馬県(3.33)、宮城県(3.00)、岐阜県(3.00)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は減少した。高知県から1例報告があり、年齢群別では5～9歳であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2025年 第36週(9月1日～ 9月7日):通巻第27巻 第36号 より

＜関東情報＞

RSウイルス感染症の定点当たり報告数は、群馬県(3.04)、栃木県(2.96)からの報告が多い。

RSウイルス感染症



2025年 36週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ ＃1	報告数	1,949	534	11	33	22	86	126	161	95
	定点当たり	0.50	0.45	0.16	0.70	0.49	0.49	0.67	0.39	0.39
新型コロナウイルス感染症	報告数	31,329	7,210	587	398	282	1,479	1,317	1,664	1,483
	定点当たり	8.12	6.09	8.63	8.47	6.27	8.45	7.04	3.98	6.10
急性呼吸器感染症	報告数	207,429	67,780	4,055	3,650	3,802	12,574	9,981	19,468	14,250
	定点当たり	53.92	57.54	59.63	79.35	84.49	71.85	53.37	46.57	59.62
RSウイルス感染症	報告数	3,896	1,136	54	80	76	193	151	359	223
	定点当たり	1.66	1.58	1.42	2.96	3.04	1.74	1.31	1.37	1.57
咽頭結膜熱	報告数	736	186	16	4	5	36	25	71	29
	定点当たり	0.31	0.26	0.42	0.15	0.20	0.32	0.22	0.27	0.20
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	4,109	1,439	120	80	40	308	217	441	233
	定点当たり	1.75	2.00	3.16	2.96	1.60	2.77	1.89	1.68	1.64
感染性胃腸炎	報告数	10,963	3,463	194	88	190	627	482	1,280	602
	定点当たり	4.66	4.80	5.11	3.26	7.60	5.65	4.19	4.87	4.24
水痘	報告数	509	175	3	6	6	43	19	60	38
	定点当たり	0.22	0.24	0.08	0.22	0.24	0.39	0.17	0.23	0.27
手足口病	報告数	1,337	367	15	15	7	42	71	156	61
	定点当たり	0.57	0.51	0.39	0.56	0.28	0.38	0.62	0.59	0.43
伝染性紅斑	報告数	4,323	477	48	47	54	76	83	76	93
	定点当たり	1.84	0.66	1.26	1.74	2.16	0.68	0.72	0.29	0.65
突発性発しん	報告数	816	243	6	14	18	45	29	86	45
	定点当たり	0.35	0.34	0.16	0.52	0.72	0.41	0.25	0.33	0.32
ヘルパンギーナ	報告数	2,464	899	47	28	46	169	94	370	145
	定点当たり	1.05	1.25	1.24	1.04	1.84	1.52	0.82	1.41	1.02
流行性耳下腺炎	報告数	88	28	−	−	2	4	5	13	4
	定点当たり	0.04	0.04	−	−	0.08	0.04	0.04	0.05	0.03
急性出血性結膜炎	報告数	10	2	−	−	−	2	−	−	−
	定点当たり	0.01	0.01	−	−	−	0.05	−	−	−
流行性角結膜炎	報告数	761	301	49	6	33	48	57	43	65
	定点当たり	1.09	1.43	2.88	0.50	2.36	1.12	1.68	1.10	1.25
細菌性髄膜炎 ＃2	報告数	12	1	−	−	−	−	−	−	1
	定点当たり	0.02	0.01	−	−	−	−	−	−	0.08
無菌性髄膜炎	報告数	29	4	−	−	−	1	−	−	3
	定点当たり	0.06	0.05	−	−	−	0.08	−	−	0.25
マイコプラズマ肺炎	報告数	467	104	15	19	30	11	3	16	10
	定点当たり	0.97	1.20	1.15	2.71	3.33	0.92	0.33	0.64	0.83
クラミジア肺炎 ＃3	報告数	5	3	−	−	−	1	−	2	−
	定点当たり	0.01	0.03	−	−	−	0.08	−	0.08	−
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	報告数	1	−	−	−	−	−	−	−	−
	定点当たり	0.00	−	−	−	−	−	−	−	−

＃1 鳥インフルエンザを除く　＃2 真菌性を含む　＃3 オウム病を除く　(−:0.00)

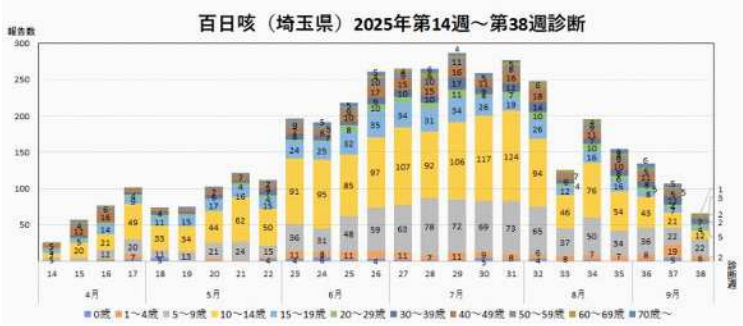
感染症発生動向調査 2025年
- 感染症の流行状況 2025年 第1週
- 感染症の流行状況 2025年 第2週
- 感染症の流行状況 2025年 第3週
- 感染症の流行状況 2025年 第4週
- 感染症の流行状況 2025年 第5週
- 感染症の流行状況 2025年 第6週
- 感染症の流行状況 2025年 第7週
- 感染症の流行状況 2025年 第8週
- 感染症の流行状況 2025年 第9週
- 感染症の流行状況 2025年 第10週
- 感染症の流行状況 2025年 第11週
- 感染症の流行状況 2025年 第12週
- 感染症の流行状況 2025年 第13週
- 感染症の流行状況 2025年 第14週
- 感染症の流行状況 2025年 第15週
- 感染症の流行状況 2025年 第16週
- 感染症の流行状況 2025年 第17週
- 感染症の流行状況 2025年 第18週
- 感染症の流行状況 2025年 第19週
- 感染症の流行状況 2025年 第20週
- 感染症の流行状況 2025年 第21週
- 感染症の流行状況 2025年 第22週
- 感染症の流行状況 2025年 第23週
- 感染症の流行状況 2025年 第24週
- 感染症の流行状況 2025年 第25週
- 感染症の流行状況 2025年 第26週
- 感染症の流行状況 2025年 第27週
- 感染症の流行状況 2025年 第28週
- 感染症の流行状況 2025年 第29週

感染症の流行状況 2025年 第38週

2025年第38週（9月15日～9月21日）は、2025年4月以降、増加傾向が続いていた百日咳は、減少傾向となっているものの、まだ多い状況となっています。また、新型コロナウイルス感染症は、前週と比較して同水準でした。
咳エチケット、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心掛けてください。また、体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。

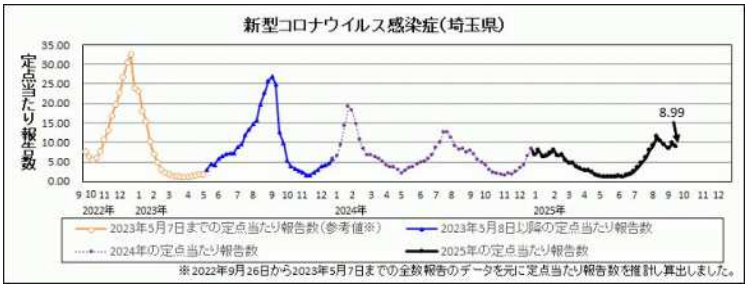
全数把握対象疾患（百日咳）

第38週に診断された患者数は66人で、この内訳を年齢階級別にみると、5～9歳が22人（全体の約33%）と最も多く、次いで10～14歳が12人（約18%）でした。



定点把握対象疾患（新型コロナウイルス感染症）

定点当たり報告数は8.99で、前週と比較して同水準でした。



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	→	★	手足口病	→	★
新型コロナウイルス感染症	→	－	伝染性紅斑（りんご病）	→	★★
急性呼吸器感染症	→	－	突発性発しん	→	★
RSウイルス感染症	↑	★★★	ヘルパンギーナ	↓	★★
咽頭結膜熱（プール熱）	→	★	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓	★	急性出血性結膜炎	→	★
感染性胃腸炎	↓	★	流行性角結膜炎	→	★★★
水痘（みずぼうそう）	↓	★			

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少）*3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい）*4.2025年第14週から定点医療機関の指定数が変更となりました。
疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。
この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。
また、全国の感染症発生動向状況については、国立健康危機管理研究機構のホームページ「感染症情報提供サイト」でご覧になれます。